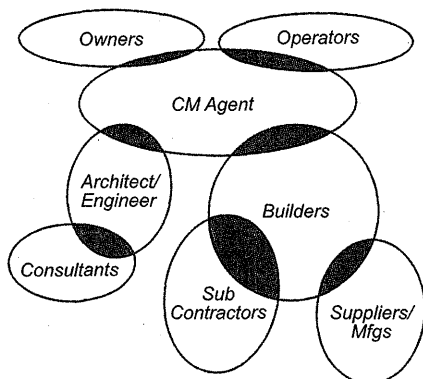


CIMの道筋 米国に見る光と影

BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）では、モデルデータの受け渡しに「IFC」という標準データ形式が使われる。プロジェクト関係者が同じファイル形式を使えば、モデルを統合した際に生じるデータ上の不具合は未然に防げる。現場では複数の異なるソフトウェア

属性情報を見極める



BIM関係者が複数になればデータ受け渡しも難しくなる

壊れた部分をできるだけ早く修理することに関心があ

を使うケースが多いため、IFC形式という統一ルールによって、スムーズな連携を図ることが狙いだ。

しかし、設計・施工段階から維持管理段階へのデータ受け渡しについては属性情報の内容が違いため、IFC形式を使ったとしても適切なデータの抽出が難し

ネジメント）の目線から、BIMのデータ活用を考えるツールと受け止めてもらいたい」



調査団にCOBieを説明するイースト氏（右）

った属性情報の多くは、維持管理の有益な情報として使える。大切なのは情報の中身を一つひとつ見極め、明確に整理することだ」と強調する。

そもそも壁は普通に日常生活を送っていれば壊れないが、天井換気ダクトのように設備類は不具合が生じ

米陸軍はCOBie義務化

いるか」。国土交通省のCIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）試行に合わせた設立されたCIM技術検討会でも、属性情報の検討は重点テーマの1つに位置付けられている。

米陸軍工兵隊は2014年10月から、施工者に工事の成果をCOBie形式で提出するよう義務化する。これは、維持管理のBIMを前提にした試みに他

「このようにCOBieの進め方は分かりやすく現

実的である。故に属性情報の分類の仕方、そのルールを明確化することが問われる（イースト氏）。例えば属性の意味付けとして、あ

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中伊 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| ⑬建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海 |
| 16. 建設工業 | | |

平成25年10月17日（朝）・夕）P3-1

建設通信新聞